

教員名	牛江 ゆき子 (USHIE Yukiko)
所 属	語学センター
学 位	文学修士 (1982 東京大学)
職 名	教授
URL / E-mail	ushie.yukiko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード

英語教育 / 自律型語学学習 / 学習支援

◆主要業績

総数 (2) 件

- ・松藤薫子 絹谷弘子 牛江ゆき子「自律型語学学習環境の構築を目指して」
第46回 LET(外国語教育メディア学会)全国研究大会発表論文集 CD, pp. 71-80.
2006年8月
- ・松藤薫子 絹谷弘子 エドワード・シェイファー 牛江ゆき子
「自律型学習を目指した英語自習における支援効果について」『人文科学研究』
お茶の水女子大学 第3巻, pp.115-129, 2007年3月.

◆研究内容

英語の自律的学習の支援に関する共同研究を2004年度より継続している。2006年度は、まず、授業の一環として自習を行わせる際に、教材の選択や、学習時間・量に関して学生の自主性をできる限り尊重した場合の支援の効果を検証した。その結果、学生の満足度や実践の割合は向上したが、リスニングテストでは以前より学習前後での上昇幅が低いという結果が得られた。学習効果を高めるための工夫（レベルにあった教材選択のための助言や、教材についての情報提供・学生同士の情報交換の充実など）の必要性が浮かび上がった。この結果を踏まえ、後期には、自習用教材をさらに整備し、種類・レベル別に分類するとともに、コースマネジメントシステム Moodle を導入・試用し、学生と教員・学生同士が Moodle 上で情報交換や相談ができるようにし、その効果の検証を行った。

◆教育内容

本学の英語教育では、英語で知的にコミュニケーションが取れる国際人の育成をめざし、英語の文章の構造や論理の展開の仕方を理解させ、論理的な思考力を身につけさせることを重視している。したがって、担当する基礎英語・中級英語の授業では、英語の論理的な文章を読んだり、レクチャーを聞いたりして、論点と、論点がどのようにサポートされているかを把握する訓練を行っている。また、授業時間は限られているため、課題として、読書レポートや、トランスクリプション（書き取り）、自分でリスニング等の課題を選んで学習する自由選択課題等を課し、英語力を高められるようにしている。

英語圏の専門科目「英文法」では、英語の文法の基本的概念の体系的な理解と論理的な文章の正確な読む力の養成をめざして授業を行っている。「対照表現学Ⅰ」では、英語で意見を述べる文章の書き方を教えている。

◆Research Pursuits

In a collaborative research project funded by Grant-in-Aid for Scientific Research, we continued to investigate ways of supporting students' self-study of English and how to create an environment which encourages students to study English in their free time, using media they have easy access to and materials that suit their interests and proficiency levels. In the spring semester of 2006, we asked students in six English classes to study self-chosen reading and listening materials. We found that students studied more and were more satisfied than students in classes in 2005, who were given less autonomy in their choice of study materials. However, the scores of listening tests did not improve as much as they did in 2005. It seemed that though students' motivation and satisfaction improve when they are given more autonomy, choosing appropriate materials for one's proficiency level may be difficult. Based on these results, in the fall semester of 2006, we installed Moodle, course management software, to promote student-teacher interaction and student-student interaction so students could be given advice and suggestions from the teacher and their friends on choice of self-study materials, and we are studying the effects of this method.

◆将来の研究計画・研究の展望

英語の自律的語学学習環境構築のための研究を継続する。具体的には、これまでの研究・調査結果をふまえて、以下のことを行う。コースマネジメント・システム Moodle を利用した支援を充実させ、その支援の効果を検証する。自律学習用教材の収集をさらにすすめ、レベル・スキル・ジャンル・学習形態別に分類し、その情報をデータベース化する。学習者の各種メディア機器に対する親和性を調査する。学習者の個人差要因に即した自律型学習の支援のため、個人差要因を分類し、分類体系に応じた支援モデルを提案する。

◆受験生等へのメッセージ

今、英語について「文法は間違っても、通じさえすればよい」という考え方が主流になりつつあり、文法が軽視されがちです。しかし、文法がしっかりと身につけていないと、あるレベル以上の英語を正確に理解し、伝えたいことを正確に伝えられるようになりません。文法を習得するためには、文法の内容を理解するほか、たくさんの英語を読んだり、聞いたり、音読をしたりといった地道な努力が必要です。

さらに、日本語でも英語でも同じですが、コミュニケーションを行うには、論理的な思考力が不可欠です。論理的な思考力も簡単に身につくものではありません。

大学の4年間では、見かけだけの流暢さを追うのではなく、地道な努力をして、たとえつたなくとも、本当に実のあるコミュニケーションが英語で行えるようにしましょう。

◆Educational Pursuits

Core English classes at Ochanomizu University aim to develop students' skills in communicating in English by developing both English skills, and logical and critical thinking skills. Therefore, in Basic English and Intermediate English classes, focus was on improving skills in comprehending expository reading and listening materials. Students were taught the logical organization of English paragraphs and essays and how they differ from those in Japanese. They were trained to grasp the main points of expository essays and lectures and to understand how these main points are supported. Students were also given various assignments (transcription, reading report, etc.) to improve their English skills.

In English Grammar, focus was on teaching basic concepts and principles in scientific analysis of the grammar of English and improving skills in reading expository writing accurately. In Contrastive Expository Writing I, argumentative essay writing was taught.